

成長するということは「限界突破」！

授業の様子を見に行くと気付くことがあります。私も皆さんと同じように高校生として授業を受けてきたのですが、振り返ると意外と忘れてしまっていることが多いということです。もしかしたら、今、学んでいる皆さんのほうが幅広い知識があるのではないかと思います。この間も、「校長先生、これ分らないとやばいですよ」って3-Dの生徒に言われました。(笑)

皆さんには多くの知識等が注がれています。大変だと感じる人もいますが、今後、その中で「何が」残っていくかが大切です。残った知識が皆さんの専門になるからです。先生方も、広い知識等の海の中で、「教科」という専門的な知識と考え方を身に付けてきました。だからこそ、専門的な学びを伝える授業は楽しいのです。工業に限らず、先生方の専門性を面白く感じてください。

さて、ものを知り始めると、自分がいかにももの知らないかということに気が付きます。学びが始まると自分の「無知」を知り、そこから学びが広がっていきます。本当に自分の浅い知識や経験が恥ずかしくなります。だからこそ、多くの人や本に接し新たな知識等に出会い、これまでの自分の「常識」が、常識でもなんでもなかったことに気付き、新しい世界へ突入することが大切だと思います。学びにより、「自分と違う視点」に触れ、自分の思考の幅や自分自身に対する許容範囲を広げ、人生の選択肢を広げることが、「限界突破！」につながり、成長になりますね。



皆さんには、どんなことに接しても、常識や思い込みにとらわれず、広い視野で物事を考えることを心がけてほしいです。学びはそこから始まりますから。何事も自分で見る、聞く、考えることを実践できるといいですね。

ぶらり、あらこう散歩



9月に実施されるドローンパイロットの資格取得試験に向け、1年生9名の挑戦が「株式会社スペースワン」の指導の下で始まりました。パイロットとしての知識・技術

だけでなく、安全飛行のためのルール(法律)をしっかりと学び、パイロットとしてふさわしい力を身に付けます。

体育館での飛行訓練では、自分の分身となって離陸したドローンに感動するとともに、これから見せてくれる新たな世界に期待し目を輝かせていました。

このようなワクワクできる機会を計画・実施している1年担任の三浦先生と安次嶺先生に感謝です。

それにしても、ドローンが映し出す世界は、少年時代に憧れた空飛ぶ景色です！

未来は創れる！大いに楽しめ！荒工生！

「未来を創る！彩る！荒川工業」

